

青銅器から見た島根の弥生時代

吉田 広 (愛媛大学)

1. 荒神谷遺跡と加茂岩倉遺跡の衝撃

- 1984年 荒神谷遺跡の発見と銅剣358本の出土
- 1985年 荒神谷遺跡での銅矛16本と銅鐸6個の出土
- 1995年 加茂岩倉遺跡の発見と銅鐸39個の出土

2. 島根発の青銅器研究

報告書『出雲神庭荒神谷遺跡』と『加茂岩倉遺跡』の刊行
荒神谷遺跡・加茂岩倉遺跡出土青銅器に関わる青銅器自体の詳細研究
弥生時代青銅器埋納を巡る悉皆的調査研究 等

3. 荒神谷・加茂岩倉以後の発見と研究

- 1995年 福岡県重留遺跡 竪穴建物内銅矛埋納遺構の出土
- 2007年 長野県柳沢遺跡 東日本長野での銅戈8本と銅鐸5個の出土
- 2015年 兵庫県松帆 銅舌・有機質を伴った銅鐸7個の発見

4. 青銅器から島根の弥生時代研究へ

島根の弥生時代像の解明 集落動態や生産・物流からみた地域弥生社会
島根の地域弥生社会における荒神谷遺跡・加茂岩倉遺跡での青銅器大量埋納
日本列島弥生社会における島根の弥生時代社会の特質解明へ